



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 58 号
令和 3年 2月26日

ご心配をおかけしました

校長 古市 直彦

ふた学年（3日間）の学年閉鎖や、3年生の公立一般入学者選抜等もあり、本日、久しぶりに全校生徒が揃いました。やはり、学校は生徒がいてこそ…と実感しています。

さて、学年閉鎖に際しましては、保護者の皆様に多大なるご心配をおかけしました。関係諸機関と報告・相談を繰り返し、指示を仰ぎながらの判断となりましたので、お知らせが遅い時間帯になってしまいましたことも、重ねてお詫び申し上げます。

閉鎖明けの22日（月）、3年生は市内一斉に自宅学習日となっておりますので登校していませんでしたが、朝、授業を始める前の段階で、私の方から1・2年生の生徒に次のような話をしました。

今回は、突然の学年閉鎖ということで、いろいろ心配したり、不安になったりした人もいることでしょう。内容が内容だけに、あまり細かい事情の説明はできないのですが、結果的に、今回の案件での「陽性者」は最初のメールでお知らせしたほんのわずかな生徒だけでした。

おおごと
大事に拡大・発展してしまわないように、予防的な意味を込めて、早め早めの対策としての措置だったのですが、あの時点では、先が見通せない部分も多かったのも、もっと情報が欲しいと思った人もいたかもしれませんね。でも、今日、学校を再開できたということは、関係諸機関から「安全な状態」としての許可をいただけたということですので、安心してください。

そして、今回、感染してしまった人や、濃厚接触者となった人も、好き勝手に外出や会食をしていたわけではありませんし、何か悪いことをしたからそういうことになってしまった…というわけでもありません。それでも、本人達は心を痛め、不安を感じているでしょうから、休み時間等の会話にも十分注意したいですね。

でも、皆さんの自身の中にも、いろいろ不安をかかえている人もいるでしょう。これからの生活で何か心配なことがあったら、遠慮なく相談しやすい先生やスクールカウンセラーに声をかけてください。

ところで、1・2年生の皆さんがいなかった3日間ですが、やはり、とても寂しかったです。

唯一登校していた3年生と8組はというと、いつも通りの落ち着いた学校生活を送ってくれていました。授業中は黙々と学習に取り組み、昼休みには思いっきり遊びまわる姿がとても印象的でした。

「さすが、若中生！」と感じさせてくれました。

今日このあと、学校生活を再開します。学習はもちろんですが、とりあえずは来週の水曜日に迫ってきた「3年生を送る会」に向けて、みんなで力を注いでいきましょう。例年とは違う、テレビ画面を通しての送る会になりますが、必ず皆さんの気持ちは3年生に伝わるはずですから。そしてその頑張り、次の学年への進級を1ヶ月後に控えた皆さん自身の成長にも繋がるはずですから。

体育館前の梅の木も、その蕾を開き始めています。春は着実に近づいてきています。学年閉鎖は終わりましたが、全国的にはまだ緊急事態宣言が継続している状態ですので、「密」を避けるなど、生活には気を付けながら、また一緒に頑張っていきましょう。



校内放送とテレビ画面を利用した話でした。そのあと、各クラスの担任からの話もあり、子どもたちは落ち着いた状態で学校生活を再開できたようです。不安等で体調を崩す生徒もなく、放課後には、久しぶりの部活動を楽しむ姿も見られました。緊急事態宣言が継続している段階ですので、まだまだ、時間的にも内容的にも制限がかかった状態の活動ではありますが。



また、今回の件を通して、あらためて、本校保護者の皆様の暖かさを感じることもできました。

同じように学年・学級閉鎖をしている他の学校ではクレーム的な問い合わせが殺到したところもあるようですが、本校では数件、簡単な質問の問い合わせがあっただけでした。「個人が特定できてしまうようなご質問にはお答えできないので…」と申し上げると、「そうですね、こんな質問をして申し訳ありませんでした」「いろいろ考えた上でのご判断だと思いますのでおまかせします」「先生方も大変でしょうが、どうぞよろしくお願いいたします。」「先生方もご自愛ください…」等のお声かけをいただくこともできました。涙が出てきそうでした。

来週からは、いよいよ3月になります。学校行事も、テレビ放送で開催する予定の「3年生を送る会」と「卒業証書授与式」を残すのみとなりました。これからも、子どもたちが安心・安全な学校生活を送ることができるよう、がんばっていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

本年度の卒業証書授与式について②

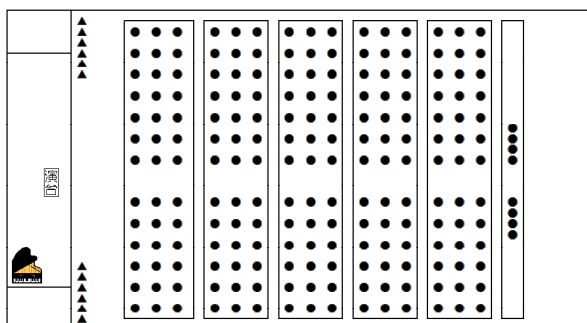
校長 古市 直彦

いよいよ、卒業証書授与式が2週間後に迫ってまいりました。「校報 若松中だより39号」では、本年度の本校卒業証書授与式のもち方について、次のような3つの案を提案させていただきました。

- 第1案 … 学級ごとの実施
- 第2案 … 生徒と職員で実施
- 第3案 … 折衷案

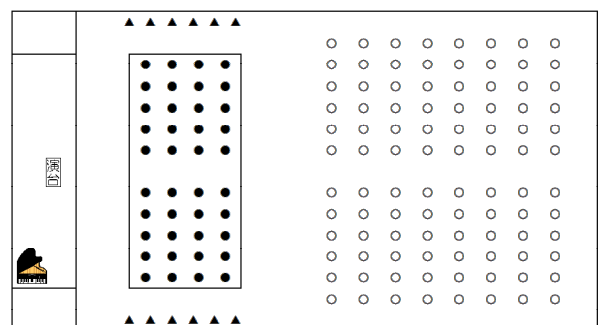
P T A 役員の皆様にも相談させていただき、現在は第3案で実施する方向で準備を進めています。できる限りのディスタンスを確保するようにはいたしますが、安全とされる前後左右1mの確保は難しい状況です。保護者の方の出席も各家庭1名でお願いせざるを得ません。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

第2案



第1案

●…生徒 ○…保護者 ▲…職員



第3案

